

第23回 自動認識総合展を開催

新型コロナウイルス感染者数が減少しはじめた10月6日から8日まで東京ビッグサイト南3・4ホールで、一般社団法人日本自動認識システム協会（JAISA）が主催する「第23回 自動認識総合展」が開催された。緊急事態宣言は解除されたものの、依然として行動制限が続く中、会期中6,994名が来場した。

自動認識総合展は、出展各社が最先端の自動認識技術を駆使してユーザーの現場運用を提案し、新たな用途を開拓するなど、最新のソリューションを披露する場として自動認識市場の拡大に貢献している。近年、通信技術の進展とインフラなどの整備によってデジタルトランスフォーメーション（DX）の構築に向け、ロボットやAIなどと協働するハイブリッドなソリューションが増加している。

本展示会で来場者は「オンラインで見聞きするだけでは限界があった」「実物を見て確認できると納得感が違う」などリアルな製品やデモを待っていた方々が多く、出展者も「具体的な目標を持って来場されている方が多い」など手応えを感じていた。



動画はこちらをクリック

未来をつなぐAUTO-ID

展示会場にはJAISAのテーマ展示として「未来をつなぐAUTO-ID」ゾーンが設置され、今回のテーマ<SDGsを支える自動認識>に因みSDGsの目標の実現に貢献する出展協力企業24社・団体のソリューションが展示された。

また会期中、凸版印刷（株）の協力でテレプレゼンスロボットサービス「TransBots」のデモンストレーションが行われ、自律走行するロボットが写す会場の映像と音声はYouTubeでライブ配信された。

「TransBots」は、ロボットやIoT機器から取得される情報の可視化、遠隔コミュニケーションを可能にするもので、VRロボット制御、テレプレゼンス機能やライブ配信など多彩な機能を装備している。今回は、ロボットを操作して展示会を観る未来のバーチャル展示会トライアル企画として実施された。



動画はこちらをクリック

自動認識システム大賞表彰式

今年度の第23回 自動認識システム大賞表彰式が行われた。

同システム大賞は先進的かつ導入効果が極めて顕著な自動認識技術やシステムを表彰するもので、今年度は、大賞1作品、優秀賞2作品、産経新聞社賞1作品が受賞、ほか6作品が入選した。（受賞者は下表参照）

【第23回 自動認識システム大賞 受賞一覧】

	受賞作品タイトル	応募企業	自動認識技術
大賞	温度ロガー機能付きデュアルRFIDラベルによる農産物の定温物流管理	株式会社サトー 沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社	RFID、NFC
優秀賞	日本酒の正規品流通経路管理のための、二次元コードとRFIDハイブリッド活用	高桑美術印刷株式会社 黒龍酒造株式会社 株式会社サトー	二次元シンボル、RFID
優秀賞	Deep Learning を使った物流仕分けソータ上の単品識別システム	ジック株式会社	画像認識
産経新聞社賞	UHF帯バッテリーレス電子ペーパータグを活用した工程間搬送システム	株式会社デンソーウェーブ 富士通セミコンダクターメモリソリューション株式会社	RFID
入選	AI画像認識を利用した色味検査システム	株式会社テクノア	画像認識
入選	ARマーカをコードとして利用する工事品質管理システム～電子納品写真業務の効率化～	ワム・システム・デザイン株式会社 サコス株式会社 株式会社ルクレ	二次元シンボル
入選	三辺自動計測 AI	Automagi 株式会社	画像認識、AI
入選	カメラソリューションを活用した医療安全の質向上支援	東芝テック株式会社 日本調剤株式会社	バーコード
入選	RFIDを利用した循環輸送資材管理システム（RePaX）	小林クリエイト株式会社	RFID
入選	RFIDシステムを活用した物流施設でのピッキング作業効率化	ダイオーエンジニアリング株式会社 GROUND株式会社	RFID

第23回自動認識システム大賞 表彰式&講演会



第23回 自動認識システム大賞受賞者



感染症予防対策を行った運営（入場ゲート）



「テレプレゼンスロボットサービス」デモ